

提案名	『彩樹の家-2011』～森と住まい手をつなぐ地域循環ネットワーク～	分野	木造等循環型社会形成の分野に係る提案
提案者	株式会社 高砂建設	種別	システム提案
構造	木造住宅（在来軸組）	建て方	一戸建ての住宅

■提案の基本的考え方

弊社は、過去2度の採択を通じ、地域に根差した工務店ならではの家づくりを推進してきた。前2回の提案で地産地消の家づくりと木材品質の確保、住まい手参加型・地域循環ネットワークの形成に取り組んできた。

本提案では、このネットワークに地元建具メーカーや森林土木業者、NPO法人、地元自治体（埼玉県森づくり課）などを新たに加えることで、より広範囲の連携を図ると共に、地元林業の将来に亘る持続可能な発展に向け、計画的伐採・育林などに資する取組み『森と住まい手をつなぐ地域循環ネットワーク』を実施する。

また、住宅長寿命化への施策として着脱式巾木などインスペクションの具現化、EV・PHV自動車への対応、環境負荷に配慮した地盤改良などに取り組んだ。

更に、金融を含むインターネットサービス機関と連携し、住まい手の日常的買い物や、公共料金の支払いなどで付与されるポイントを、将来の修繕に役立てられる仕組みを構築した。

本提案はこうした理念のもと、地域活性化循環型社会のあり方のモデルを目指すものである。

■提案内容

《地域林業育成ネットワーク》

前回提案では、住まい手の林業育成参加、授産福祉施設との連携に加え、つくり手と（協）フォレスト西川とで行なって来た取組みを系統的に整備し、実施してきた。

本提案では、更に地元林業発展に寄与することを目指し以下の施策を実施する。

- 1) 伐採地の主伐材と間伐材を合わせ買いし、建築資材とならない木材を路網整備の土木材料として森林土木業者に供給する。
- 2) 住宅建設で使用する木材データを立木ベースに置き換え、需要側データとして林業家に提供する。
- 3) 林業家、つくり手（大工）が参加する現場見学会やイベントを実施して、山元から住まい手に至る交流を実施する。

《地域活性化ネットワーク》

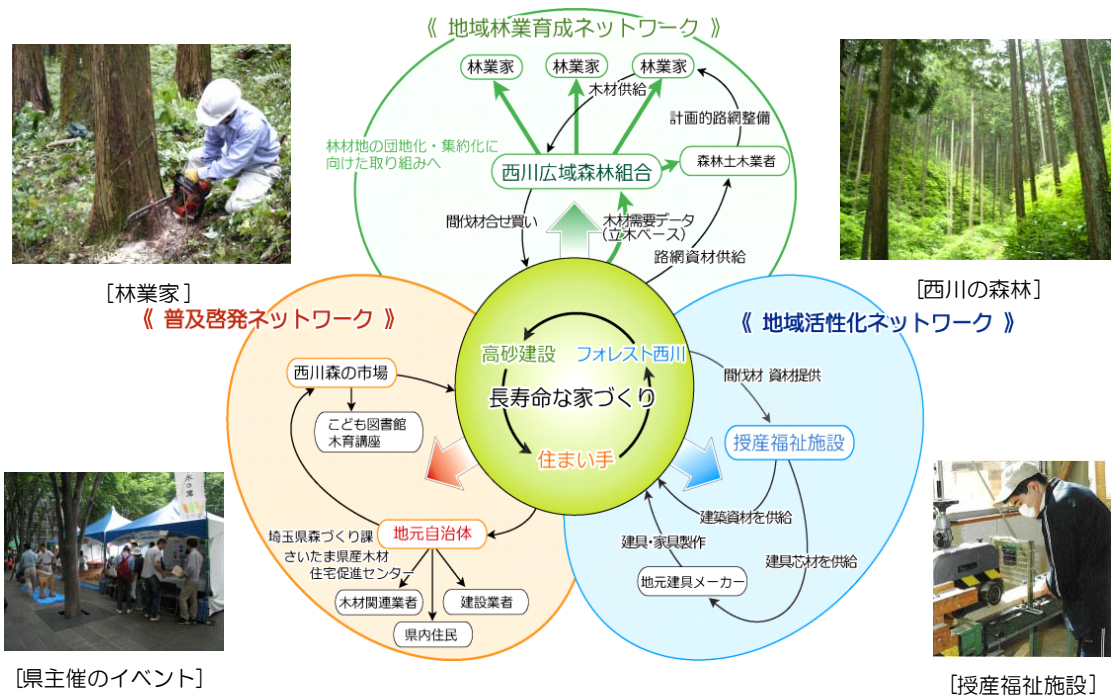
また、家づくりを中心とした地域材活用と地域活性化に対する取組みとして以下を実施する。

- 1) 前回提案より取り組んできた地元授産福祉施設との連携を深め、長期に亘る継続的自立支援とするため同施設生産材料を建築資材として活用する。
- 2) 地元建具メーカーと連携し県産木材を活用した木製建具を導入する。  
この建具の芯材には、上記地元授産福祉施設で加工された材料が用いられる。

《普及啓発ネットワーク》

これらの活動を地域に広め定着することを目指し、更に以下の取り組みを行う。

- 1) 住まい手や地元小中学生を対象として林業家、製材業者、建築業者などで構成するNPO法人「西川・森の市場」が中心となり弊社と連携して、木育講座を実施する。
- 2) 埼玉県森づくり課と連携し「さいたま県産木材住宅促進センター」を通じて、これらの取り組みを同業他社を含む地元企業に紹介する他、県主催のイベントにおけるパネル展示等で情報公開を行う。



■提案者からのコメント

弊社は、平成20年度の第1回目の採択から今回まで3年連続採択を頂くことができました。兼ねてより取り組んできた地場県産材の活用が評価されたこと本事業を通じて、その地産地消の取り組みが確実に広がりを見せ、地域の活性化及び循環型社会形成に寄与できたことをうれしく思っています。

今後も地域に根差した地域ビルダーならではの家づくりと先導的・長期優良住宅の普及推進を一層、進めていくことが、弊社の大きな役割だと自負しております。